

事務事業名		もりのエネルギー利用推進事業			会計	一般会計					
					事業種別	政策	開始	23	終了		
課等名	地球温暖化対策課	係等名	地球温暖化対策係								
基本計画上の位置づけ	政策	5	人の営みと自然・環境が調和したまちづくり								
	施策	57	社会の低炭素化の推進								
目的	対象(誰・何を)	市民・事業者				対象指標	指標名及び単位			24年度数値	
	意図(どういう状態にするか)	木質バイオマスエネルギー利用による温室効果ガス排出の削減					飯田市の人口(人) (H24.10.1推計人口)			103947	
	向上させたい上位施策の成果指標	飯田市全体が排出する温室効果ガスの排出量(トン・21年度算出実績は19年度のもの)									
目標	種別	指標名及び単位			24年度計画	24年度実績	25年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)		
	成果指標	温室効果ガス削減量(トン)			-6	2113.8	1950.1	2576.1			
	成果指標	温室効果ガス削減容量増加(トン・年)				1556.6	1467.1	1824.1			
	定性目標										
事業概要	<p>公共施設におけるエネルギーを木質バイオマスへ変換するため、機器の導入を行っていく。また、民生部門の二酸化炭素排出削減のため、同じく市民の木質バイオマス機器導入を促し、化石燃料からの変換を行っていく。</p> <p>1 公共施設における木質バイオマス活用機器の導入 市民が出入りする公共施設へ木質バイオマス活用機器を設置することにより、化石燃料からの変換を促す目的で普及啓発を行う。</p> <p>2 市民への木質バイオマス活用機器導入助成 石油ストーブに比べて高価な木質バイオマス活用機器の購入助成を行うことにより、市民の購入意欲を促進し、木質バイオマスの利用普及を図る。</p> <p>3 森林吸収源を生かした地域間交流の推進 森林による二酸化炭素吸収地域としての強みを活かし、将来的な排出権取引を視野に入れ、都市部との地域間交流を行い、取引のあり方を考えていく。</p>										
	事業内容					名称			活動指標		
	24年度事業内容	1 木質バイオマスエネルギーの普及推進 (1) 公共施設における木質バイオマス活用機器の導入 (2) 市民への木質バイオマス活用機器導入助成 (3) 森林吸収源を生かした地域間交流の推進 (4) ペレットストーブ体験会の開催					1 (1) 導入台数 (2) 助成件数 (3) 交流会数 (4) 参加人数			20台 27件 2回 0人	
		事業コスト					23年度決算額	24年度予算額	24年度決算額	25年度予算額	特定財源内訳、補足
事業費計(千円)①					11,427	10,834	9,826	6,977	[24特定財源] (県)県産材供給体制整備事業補助金(1/2) (県)森のエネルギー推進事業補助金(定額)		
国庫支出金											
県支出金					4,208	4,600	4,306	2,880			
起債											
その他									[25特定財源] (県)県産材供給体制整備事業補助金(1/2) (県)森のエネルギー推進事業補助金(定額)		
一般財源					7,219	6,234	5,520	4,097			
人件費計(千円)②					1,144		1,967				
正規職員所要時間					320		550				
臨時職員所要時間											
総事業費①+②					12,571	10,834	11,793	6,977			
事業内容・目標達成状況の振り返り	予定より早いペースで設置が進んでおり、温室効果ガス削減にも効果が出ている。										
改革改善の考え方	①問題点	木質ペレットの流通コストの削減									
	②改革提案	ペレット製造事業者に公民協働事業の意義を理解頂き、公共性の高いペレット利用については提供価格を見直してもらえよう働きかける。									